

特殊条件に応じた発進・到達事例 及び既設構造物への直接到達の計画

キーワード 既設管渠



1. はじめに

ゲリラ豪雨等による雨水の浸水被害が日本各地で発生していることによりその対策の需要が高まる中、近年の下水道工事では推進工事に既設構造物への接続が含まれることが多くなっている。

この既設構造物への接続については既設管への直接接続や既設人孔への接続があるが、既設構造物が供用開始していたり、既設構造物への接続位置が交通量の多い道路の下であったり、接続する深度が非常に深い等、これらの作業条件は非常に悪いことが多い。

次項より当社が行った工事の中で、作業条件の悪

かった到達作業の現場や構造物到達の現場の実績及び今度行う予定である既設シールド管渠への直接到達の計画について述べさせて頂くこととする。

2. 施工実績

2-1 超狭小スペースでの到達作業

工事概要：泥濃式推進工法

φ 2,000mm L = 83.549m

発進立坑 鋼矢板8,800 × 4,800mm

到達立坑 ライナープレートφ5,000mm

当現場は泥濃式推進工法にてφ2,400mmの推進

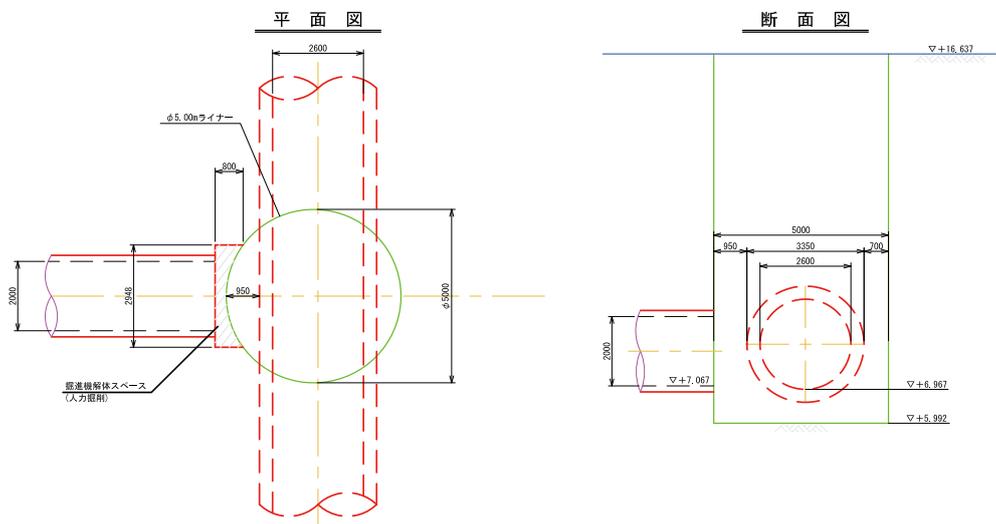


図-1 仮設図